



豊橋市立福岡小学校

令和 2 年
6 月 22 日

第 2 号

豊橋・学校いのちの日

平成22年6月18日、豊橋市立章南中学校の野外活動中にカッターボートが転覆し、ひとりの尊い命が失われてしまいました。この事故を風化させることなく、再発防止の徹底をはかるために、6月18日が豊橋・学校いのちの日に設定されました。事故から10年が経った本年度も設定の趣旨を踏まえ、「いのち」をテーマに、読み聞かせ、講話、担任による授業、避難訓練を行いました。

例年、学校公開日で「いのち」をテーマにした授業を公開していますが、本年度はコロナウイルス感染症対応のため紙面で取り組みの様子を伝えさせていただきます。

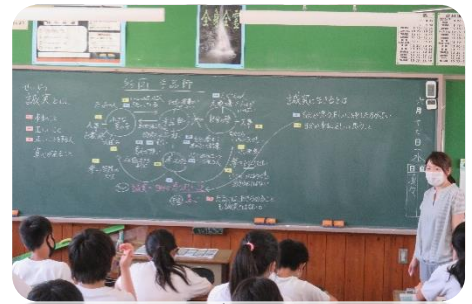
三密を避け、全校放送で、馬島学校図書館司書が「78円の命」の読み聞かせをしました。同じく全校放送で、校長が「豊橋・学校いのちの日」が設定された経緯を伝えました。各学年で、命の大切さ、生きていくために大切なこと、人とどうにかかわって生きるかなどについて、子どもたちの意見交換がされました。「命」「生き方」については、考えれば考えるほど奥が深く、難しい問題です。何かの折に、ご家庭でも話をしていただければ、ありがたいです。



馬島学校図書館司書
・放送室からの読み聞かせが行われました。



4年生道徳授業
・病で亡くなった祖父への思いを考えました。発言している子に顔を向けて聞いています。



6年生道徳
・夢を大切にするか、約束を大切にするか。異なる意見を通して、人とどうにかかわって生きるかが話し合われました。

豊橋・学校いのちの日を迎え、職員も、子どもたちの命を守る意識を高めました。

今、コロナウイルス感染症対策として、マスクを付けての活動が続いていますが、エアコンの稼働により、子どもたちは教室で集中して学習に取り組んでいます。一方、下校時や運動場での遊びでは、熱中症対策としてマスクを外すようにしています。十分な距離を保つこと、できるだけ会話を控えるなど、感染防止の指導を行うとともに、一人一人が自分の命を大切にする意識を高めていく指導を進めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

